

学生担当者報 3 Vol.361

発行/天理教学生担当委員会 発行責任者/松村孝吉 編集責任者/福江弘一
[TEL]0743-63-1511 (内線 5817) (直通)0743-63-2489 [FAX]0743-62-5870
[E-Mail] tsa@tenrikyo.or.jp [TSA website] http://tsa.tenrikyo.or.jp

立教180年
平成29年2月25日発行

お知らせ

三月例会

・期日 立教180年3月25日
・時間 15時30分受付、16時開始
・場所 教庁4階講堂

学生層育成者講習会

日程・会場案内

【直属】		
・香川	3月21日 10時30分～	大教会
・笠岡	3月21日 12時～	大教会
・筑紫	3月22日 12時～	大教会
・飾東	3月22日 12時～	大教会
・高安	3月24日 12時30分～	大教会

報告

一月例会

去る1月25日、東右4棟4階講堂に於いて「二月例会」を開催。出席は36教区、126直属。

各地の動き

【教区学生層育成者講習会】
・大阪 1月31日 教務支庁 107名
松村委員長出向

【直属学生層育成者講習会】
・此花 1月24日 詰所 121名
田邊委員出向

人事

《立教180年1月25日》
【直属学生担当委員長辞令交付】
・野宮直純（嶽東・田方）
・焼山久朗（神川・平岡）
・藤井義則（中津・城倉）
・松川道重（本理世・本理訓）

業務記録

《立教180年1月16日～立教180年2月15日》
1月18日 事務局連絡会
19日 学生連絡会
20日 『Happist』納品
21日 春の学生おぢばがえり
プロジェクト会議
23日 『Happist』梱包

24日 HARP勉強会チーム会議
25日 委員会

27日 学修大学の部 事前研修会（29日）
学修高校卒業生コース
事前研修会（28日）

2月5日 春の学生おぢばがえり
プロジェクト会議

7日 学生部部会
10日 要員育成室会議
11日 学修部部会
12日 委員会
13日 広報室会議
学修大学の部研究室会議
学修高校卒業生コース研究室会議
まなびば研究室会議
14日 学修高校の部研究室会議
15日 出版部部会

さあ、頑張るぞ



「待ち遠しくも」というのもおかしな話だが、年が明けて一月四日、

緊張の中にも真柱様の年頭のご挨拶を賜った。

御本部、教会、教区などで様々な立場をお与えいただいているが、果たしてそれぞれ立場で自覚をもって真っ直ぐにご恩報じのたすけ、一条の道を精一杯通っているのかと考えると、改めて我が身を顧み反省と共に、お与えいただいているご用に、常に教祖の道具衆として道を歩むことを再度確認し、そのことを決意した次第である。

さていよいよ、今年の「春の学生おぢばがえり」開催まで残すところ一カ月余となった。天理教学生会では六千名の動員を目指しているが、どうしたら達成できるのだろうか。

学生と接し、話を聞く中で気付いたことがある。学生たちは案外、我々担当者を頼りにしていると感じた。

学生部 部長 茶谷 良佐

これまで大会を別として「春の学生おぢばがえり」では、未だ六千名の参加者をご守護いただいたことがない。学生たちは先ずこの数字に到達することを目指している。担当者として、このことをどのようになつとめ方が求められているのかを思索しなければならぬと思う。学生も、私たちも神様から見たら同じ教え子であるということは、六千名御守護への鍵は数字の達成を目的とするところにあるのではなく、むしろ私たちの神一条の心遣いで通ることを心に定め、伏せ込み、その姿を学生たちにも映していくところに、数値目標を立ててまでも道を通る喜びがあるのではないでしょうか。

「順序一人先に立つて、後々育てるがこの道。」
（明治三十一年九月十九日）
さあ、頑張るぞ！

立教180年 学生担当委員会 活動方針 『誠の心で人材の育成につとめよう』

立教180年 天理教学生担当委員会

活動方針

【基本方針】

『誠の心で人材の育成につとめよう』

【重点項目】

- 一、別席をすすめ、ようぼくに育てよう
- 一、行事を通し、日々のご恩報じを促そう
- 一、もれなく声をかけ、親里で学ぶ機会をいかそう



一月例会における「立教百八十年 活動方針」発表（松村委員長）

一月二十五日・東右四棟四階講堂

本年最初の例会に、お忙しい中お運びいただき、ありがとうございます。新しい年を迎え、本年は後継者講習会が始まります。育成の旬と言われますが、学生担当委員会としても、期が代わり様々な行事が始まります。本年も変わらずの力添えを賜りますよう、よろしくお願いたします。

さて、始めに本年の活動方針を定めましたので、まずご報告させていただきます。

本年の活動方針は「誠の心で人材の育成につとめよう」といたしました。私たち学生担当委員会の役割はどこまでも人材の育成といえます。教祖百三十年祭後、育成のご用を預かる者であれば、誰しもが自覚しているところではありませんが、今、目指している育成は、将来のお道を担ってくれる、真のようぼくを育てようということであり、内面の育成を」と聞かせていただく私たちといたしましては、与わること、このどんな心をもつて学生と接するか、このご用に携わっていくかということに重きを置き、「おきさげ」を抛り所に考えさせていただきました。

読み進めてまいりますと、そこには、「日々という常という、日々常に誠一つという」とあります。日々常に誠一つという心で通りなさい。そうしていれば全ての道が開ける。これが道の通り方の基

本であると教えていただきます。また、「誠一つが天の理」と。誠一つということとは親神様の思召なのだと思わせていただきます。道を通る上で、誠の心でつとめることが、を、やの思いに叶うものであるならば、私たちはとにかく誠の心を忘れない、ご用に当たらせていただく、また、学生と接していくことが一番の通り方であろうという考えに至りました。それは教祖のひながたを辿らせていただくことであり、人を救う心であり、そして、まず自分が親神様の道具衆として育とうと努力することにあります。一人ひとりが誠の心で通ることができれば、その心を受けて、内々でさえも睦まじいという理が治まるのでありますから、学生に対して、まずはその姿勢を映して共に育つ努力をしていく私たちがでありたい。そのような思いから、本年の活動方針を「誠の心で人材の育成につとめよう」と

学生担当者報

させていただきました。続いて重点項目について説明いたします。私たちの活動を改めて見つめ直して、今回は三つの項目を掲げさせていただきます。

まず、一つ目に「別席をすすめ、よく、よくに育てよう」。学生層の育成を語る時、やはり十七歳という年を外すわけにはいきません。学生には、私たちの目標である「陽気ぐらし世界」の実現に向けて、一日も早くよく、よく、よく、よくに人だすけのお手伝いをさせていただけるように働きかけていく必要があるかと思えます。そのためにも、まずは関わる学生たちに、おさ、づけの尊さを伝えて別席を運ぶことをすすめる。そして、おさ、づけを取り次げるよう、よく、よくと育てて貰えるように働きかけ続けることが、まずもってさせていただくべき事柄だと思いいつ目の項目に挙げさせていただきます。

学修高校の部での出来事ですが、高校

学生担当者報

ができなかったか。感謝はみんなしていると思う。でもその違いなんだと、そんなことも聞かせていただきます。おたすけにいただいたこと、毎日生かされていることを感謝し終わるのではなく、恩に感じるものが、次に何か返させていただかなかなくてはというご恩報じの気持ちに繋がって行くのだと聞かせていただきます。これからはご恩を感じられるように育てていくことを目標としなくてはなりません。学担の立場から申せば、我々が携わる行事の中で少しでもご恩を感じられるように心をかけていく、そしてそのご恩に報いていくには、こうしたら良いんだと一緒に示してあげることだと思えます。方法は様々にあると思います。簡単なことでも、少しの時間でも良いです。絶えず、そういうことを私たちが気にかけて行事を盛り上げていけるようにできたらなと、そういう思いから二つ目の項目をこのように立てさせていただきました。

三年生の中には、既におさ、づけの理を戴

いている受講生もいます。昨年の高校の部での話なのですが、一人の男子生徒が、カウンセラーが他の生徒におさ、づけを取り次いでいる姿を見て、自分も取り次ぎていただきたいと、期間中に友達へ取り次ぐようになりました。その姿は、やがて三年生全体の「たすけ心」となって大きな輪が広がっていきました。また、学修を終えると、「早くよく、よく、よく、よくにおさ、づけを取り次ぎたい」そういって別席を熱心に運ぶ高校生も少なくありません。

年祭活動を終えた後、初席を運んでもらった方に、二席目、三席目と声をかける、また、別席を運び続ける。これがなかなか難しいことでありました。今後は、そういう人たちがよく、よくとなるまでしっかりと丹精していかなければいけないと、檄をいただいたのが昨年でございます。そうしたことも考え合わせました時、学生たちにもただ別席を運ぶ形の上でのもの

そして三つ目。「もれなく声をかけ、親里で学ぶ機会をいかそう」。今、親里で学ぼうということが打ち出されています。そこに込められた思いというのは、「おぢ、ばは帰るところであることを知る」、また「親では伝えきれないことを学んでもらう」、そして「将来、道を共に歩む教友を得る」といったところにあります。つまり、ぢ、ばの理を身体一杯に頂戴できるのが親里での生活なのです。しかし、学生担当者大会でも申しましたが、親里管内の学校へ通う学生と、学修に参加してくれる学生、この数を足しても全国の教会長子弟の半数程度にしかなりません。もっともっと、おぢ、ばに帰る機会が増えるよう、声をかけていく必要が我々にはあるのではないかなと感じています。学修においても、春学においても、楽しい内容ばかりではありません。ご守護をいただく、親の信仰をみつめて引き継ぐ心が養われる。そして、親々の恩を感

のではなく、「人をたすけたい」という心を養って、おさ、づけを取り次げるようなよく、よく、よく、よくを目指してもらいたいという意味で別席をすすめて参りたいと思っております。

次に二つ目の項目です。「行事を通し、日々のご恩報じを促そう」。年祭後、私たちの信仰を今一度見つめ直すようにと真柱様から聞かせていただきました。そして、様々な事を思案する時に「ご恩報じ」という言葉をキーワードとして進めていこうと示してくだされた昨年でございます。親神様のご恩を感じる事ができません。親神様への信仰へと繋がらない。道の黎明期、教祖に無い命を救って頂いた方はたくさんおられます。しかし、後に道に繋がっていった先輩方は僅かです。

その先輩方が初期の時代を通じてくださったおかげで今日があります。この道につかれた方とつかなかった方の違いは何かと言いますと、それは神様のご守護をご恩と感じられたか、ご恩と感じること

じることができると。そんな信仰を見つめ直す機会を見逃すことは非常にもったいないことだと思います。そこで、三つ目の項目として「もれなく声をかけ、親里で学ぶ機会をいかそう」を掲げさせていただきました。学生生徒修養会 高校の部、高校卒業生コース、大学の部、そして春の学生おぢ、ばがえり。おぢ、ばがえりできる機会には、なるべくたくさん声をかけていただきたい。そして、できることならば、その先、天理教実践課程や天理大学などへ進むような声かけもあるのではないかと考えています。先ずは、学修、春学。ここへ気持ちを込めて声をかけていただきたいと思えます。以上、この三点を重点項目とし、本年一年つとめさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

大学生徒修養会 大学の部 高校卒業生コース スタッフ事前研修会

■大学の部事前研修会

来る三月三日から九日まで開催される「大学生徒修養会 大学の部」に先立ち、一月二十七日から二十九日にかけて、本部七・八・九母屋を会場に「スタッフ事前研修会」を開催し、塾運営スタッフ・カウンセラーなど百八十二名が参加した。今年も、学生の信仰的な段階を考慮して、きめ細やかな丹精ができるよう、初めて受講する学生を対象とする初回者塾

ラーが、育成にあたり、庶務係・進行係が塾運営をバックアップする体制をとる。研修会では、「受講生と接する際の心構え」についての講義。また、男女に分かれて「婦人会員・青年会員としての自覚」の講義とふりかえり、さらに、「おてなおし」や、本期間に実施される「グループタイム」でのエクササイズの実習、また係ごとの打ち合わせを行った。

「よふき塾」「まこと塾」「いさみ塾」、二回目受講で三年生以下の学生を対象とする「つなぎ塾」、三回目以上受講の学生と二回目受講の四年生以上を対象とする「みのり塾」の五塾に分かれ、塾長・副塾長を中心に、各班に男女のカウンセ

最終日の講話において松村委員長は、自身の体験談を通して参加する学生に伝えてもらいたい角目について話をした。そして本期間までの理づくりの重要性について説明し、スタッフ自身が日々に努力をすることを促した。さらには本年はテーマを「感じよう！表そう！陽気ぐら

し」と新たに掲げていることから、まずはスタッフが、そして塾内が、陽気ぐらゐの雰囲気を出そう、と話をした。スタッフは各々にこの研修会を通して学んだことを心に治め、本期間までしっかり心づくり、器づくりに励む心を決め、研修会は閉講した。

■高校卒業生コース事前研修会

一月二十七日から二十八日にかけて、西宮詰所、津軽詰所を会場に「大学生徒修養会 高校卒業生コース」の「スタッフ事前研修会」を開催し、塾運営スタッフ・カウンセラーなど百十四名が参加した。本コースは、高校卒業という人生の上でも大きなターニングポイントを迎える高校卒業生を対象に、昨年の日程を変更し、三月十日から十二日まで開催する。定員を昨年の倍に増やし四百名としていることから、さらに多くの受講生が見込

学生担当者報

まれている。卒業後、どのような環境においても、おぢば、教会に繋がり、教祖の御心に沿った生活を送ることができるよう、親神様の御教え、教祖のひながたを学ぶとともに、同世代との繋がりも深めることを目指した内容のプログラムを受講する。

事前研修会で、スタッフは、委員長講話、「受講生と接する際の心構え」についての講義を受講。さらには、本期間に実施される「グループタイム」でのエクササイズの実習を行い、その体験を通して、本期間の進め方を学び、また心構えを確認した。

一月二十七日には「大学の部」、「高校卒業生コース」のスタッフが一堂に会し、表統領 中田善亮先生からお話を頂戴した。教祖百三十年祭をつとめ終えて次への歩みだしが大事になってくるこの時句について、また、自分の信仰を見直し、

道を通る者としていかに通るべきかなどをお聞かせくださった。

さらに、スタッフをつとめる上で、まずは親神様、教祖にお喜び頂くという心が大事で、そして、日々しっかりと教祖存命の理を感じる努力をして、本期間もお導きいただいて通らせていただくことが大切であり、また受講生に接する上では、一人ひとりをしっかり見つめ、学生と一緒に教祖を感じ、信仰の喜びを味わおうとお話くださり、最後に「共々に通り、共々に成人させて頂こう」と激励いただきました。

スタッフ一同は心熱く受け止め、一丸となってご用に取り組みさせていただくことを決意した。

Happist 4月号 予告

<p>特集</p> <p>LCCの世界</p> <p>新連載</p> <p>・教理コーナー お道の?を考えよう! 田邊 大治 (此花大教会長)</p> <p>・マンガ ココロtravel ニシカワヨウコ</p> <p>センターカラー</p> <p>・世代の違う2人をスナッパ! 青春ポートレート</p> <p>・学生会の笑顔をどうぞ! TSA SNAP</p> <p>・輝く生き方見つけよう Key Person 辻本 茂雄 (吉本新喜劇座長)</p>	<p>巻頭カラー</p> <p>開催報告 大学生徒修養会 高校卒業生コース</p> <p>巻末カラー</p> <p>開催報告 大学生徒修養会 大学の部</p> <p>好評連載</p> <p>・信仰エッセー 利光 誠治 (伊賀生疏里分教会長)</p> <p>・虹色のしおり 元渕 紘 (名高分教会教人)</p>
---	---



個人宅に直接Happistが届く個人購読も行っております。詳細は学生担当委員会事務局までお問い合わせください。

※内容は一部変更になる場合があります。

立教180年 春の学生おぢばがえり プログラム

3月27日(月)	<p>◆受付◆ 場所：春の学生おぢばがえり事務所(旧本部詰所) 時間：●教区・団体参加の直属 ⇒14時～18時15分 ●団体を組んでいない直属 ⇒夕づとめ後～21時 ※必ず時間内にお越しください。 ※直属の方は、夕づとめ後～21時の間にも、教区から提出された参加票を受け取りにお越しください。</p>
	<p>◆夕づとめ◆ 時間：18時30分</p> <p>◆前夜祭「春まつり」◆ 時間：夕づとめ後(19時頃)～21時 会場：東西泉水プール前広場 内容：・模擬店 ・ステージショー</p>
3月28日(火)	<p>◆朝づとめ◆ 時間：6時15分</p>
	<p>◆式典◆ 時間：10時(開場9時)～11時15分頃 場所：本部中庭 内容：・真柱様お言葉 ・感話「道の学生の歩み」～次代を担うようぼくへ～ ・『希望の花』斉唱 など</p>
	<p>◆直属アワー◆ 時間：式典終了後(11時45分頃)～16時00分 場所：各信者詰所(原則として) 内容：・直属教会長お話 ・学生の交流</p>
	<p>◆別席◆ 3月28日 午前席 7:30～9:30 午後席 12:00～14:00(午後席でおさづけの理拝戴を願い出られる方は13:30までに受付をお済ませください)</p>

第54期天理教学生会委員総会開催要項

この度、道につながる学生が全国の仲間とのつながりを感じ、次代を担うようぼくの姿に近づくために、委員総会を開催させていただきます。活動方針の議決、講話、練り合いなどの時間を通して、道の学生の一手一つを目指します。何卒貴教区・直属の学生リーダーにお声がけいただきますよう、よろしくお祈りいたします。

- 趣 旨** 教区・直属学生リーダーがおぢばに帰り集い、それぞれの活動について話し合う。その中で、共に学生活動をしていく仲間の存在を感じ、今回の委員総会で決定する活動方針に心をそろえて一手一つにスタートしていく場とする。また、次代を担うようぼくの姿に近づけるよう、さらに成人の道を歩ませていただくことを決意する。
- 日 程** 5月3日(水)10時集合/5月5日(金)16時解散(予定)
- 参加対象** 各教区・直属学生会委員長及び学生リーダー
(高校生、大学生、短期大学生、専門学校生、大学院生等)
- 参加定員** 140名 (各教区・直属3名まで)
尚、定員になり次第締め切りますので、予めご了承ください。
※学生会が結成されていない直属も是非ご参加ください。
- 参加費** 1,500円 ※当日にお持ちください。
- 宿 舎** 本部第2母屋
- 持 ち 物 内 容** 参加費、保険証、筆記用具、ハッピー、傘、宿泊に必要なもの
第54期天理教学生会活動方針の議決、学生活動について、講話、練り合い、レクリエーション 等

※全日程の参加を原則としますが、やむを得ず遅刻、早退、中抜けする場合は、必ず事前にご相談ください。
 ※申込書をFAXで提出される場合は、FAX送信後に学生担当委員会事務局までご連絡ください。
 ※申込書をFAXで提出される場合は、学生担当委員長の印鑑を押した原本を当日お持ちください。

青空

昨年、FIFA年間最優秀選手賞を受賞したサッカー選手、レアル・マドリードのC・ロナウド選手の話。
 多くのサッカープレイヤーがファッションや信仰などの理由から刺青を入れる中、彼の体からはどこを見てもみつからない。
 筋骨隆々でイケメンの彼のことから、私は勝手に「俺のパフォーマンスに落書きは無用のさ!」とかナルシストなことを言ってるんだろうと思っていたのだが、どうやらそれは私の偏見だったようだ。
 「子供達のために定期的に献血を行う為、体には刺青を入れないと決めている」
 これが理由だったのである。そして彼は言う。
 「誰にでもできることこそ、僕らが率先してやらないといけない」
 しびれる、なんて格好いいんだ!
 私たちはたくさんの人と接して支え、支えられながら生きている。「勝手な偏見は絶対しない」ということと、「誰でも出来るからと蔑ろにしそうなことこそ一生懸命させてもらう」ということを心に定めていただきたい。

越知学生担当委員会前委員長 矢野翔士

まなびば研修会のご案内

平成29年度の「まなびば」の開催に向けて、スタッフの育成を目的として、本研修会を開催いたします。まなびば担当者はもちろん、まなびばスタッフも是非ご受講ください。

記

- 【日時】 4月26日（水）～27日（木）
 集合・受付 … 4月26日 13:30
 解散 … 4月27日 15:30（予定）
- 【会場】 本部第2母屋（駐車場は北2駐車場をご利用ください）
- 【対象】 ・まなびば担当者
 ・教区学生担当委員長が推薦する者（各教区まなびば担当者を除く3名まで受講可）
- 【内容】 まなびば参考プログラムの体験、進め方説明
- 【受講費】 2,000円 ※まなびば担当者は不要
- 【携行品】 ハッピー、保険証、筆記用具、雨具、その他宿泊に必要なもの
 ※女性はズボン着用でご集合ください。
- 【申し込み】 申込書に必要事項を記入の上、受講費を添えて学生担当委員会事務局にお申し込みください。
- 【申込締切】 4月15日（土）
- 【問い合わせ】 天理教学生担当委員会事務局
 Tel 0743-63-2489（直通） 内線 5817

「まなびば」開催会場一覧 《3月開催分》

教区	開催日時	場所	担当者	電話番号
青森	3月18日13時15分～19日12時	教務支庁	川村	
大阪※	3月18日13時～19日16時	大江詰所	梅原	

※第1ブロック

☆実施計画書は2ヵ月前までにご提出ください。

春の学生おぢばがえり当日の別席について

学生専用受付時間

3月28日 午前席 7:30～ 9:30

8:00以降の受付は式典に間に合わない可能性がありますのでご注意ください。

午後席 12:00～ 14:00

14:00以降の受付はできません。

午後席でおさづけの理拝戴を願い出られる方は13:30までに受付をお済ませください。

- ◎ 受付場所 東左第一棟一階（通常の別席受付）
 - ・当日は、学生おぢばがえり大会参加者の専用受付窓口を設けます。
 - ・別席場へは「東左第二棟」から入り、受付をしてください。また、当日おさづけの理拝戴を願い出られる方は、一般の窓口で行ってください。（別席案内図参照）
 - ・初席者と中席者は部屋が分かれることがあります。また、同じ直属教会であっても部屋が分かれることがあります。
 - ※初席者と中席者が同じ部屋で別席を運びたい場合は、初席者の別席のお誓いが終わってから、初席者と中席者そろって専用受付窓口にて受付を行ってください。
- ◎ 引率について
 - ・引率は直属学生担当者が責任を持って行って下さい。
 - ・別席終了後の待ち合わせ場所は、東左第一棟ホール、真東棟吹き抜け等を利用していただけますが、特に別席者の多い団体は下図の集合場所を使用してください。
 - ・東左第一棟、第二棟は別席場です。まだ、取り次ぎが終わっていない部屋もありますので、周辺では騒がないよう特にご注意ください。

